

2016WORLD ROWING CUP 1 - VARESE REPORT 3 (4/11)

4月11日(月)

8:40 チャーターしているバスでポートコースに向け出発。

9:05 バレーゼ湖に到着。クルーごとに準備をして乗艇練習を開始。

コース到着後、クルーごとに大林ヘッドコーチとミーティングを行い水上へ繰り出していきました。

会場はまだ未整備の箇所がありますが、ここ数年、大きな国際大会を開催しているためか、落ち着いた雰囲気での準備が進められておりました。ボランティアスタッフの準備の様子も伺え、明後日のコースオープンに向けた動きを感じることができました。



大林ヘッドコーチと出艇前のミーティングを行うLM2-クルー。左から田立選手(戸田中央総合病院RC)、石田選手(東レ滋賀)



乗艇練習を始めるLM2-クルー。
左からS田立選手(戸田中央総合病院RC)、
B石田選手(東レ滋賀)



乗艇練習に繰り出すLM4-クルー。
左からS佐藤選手(日本大学)、
3奈良選手(新日鐵住金)、
2荒川選手(一橋大学)、
B小林選手(戸田中央総合病院RC)



水上で大林ヘッドコーチからアドバイスを受けるLM4-クルー。
左からB小林選手(戸田中央総合病院RC)、2荒川選手(一橋大学)、3奈良選手(新日鐵住金)、S佐藤選手(日本大学)



力漕するLM2-クルー。
左からB石田選手(東レ滋賀)、S田立選手(戸田中央総合病院RC)



水上を疾走するLM4-クルー。
左からB小林選手(戸田中央総合病院RC)、2荒川選手(一橋大学)、3奈良選手(新日鐵住金)、S佐藤選手(日本大学)



練習しているクルーに配慮しながら、地元クラブチームが普段使用している船台を出艇・帰艇エリアに移動している様子。

メインスタンドはほぼ出来上がっております。



11:45 バスでホテルに向け出発

選手がホテルに戻った後、一部スタッフが残り艇の整備を行いました。
大会前の調整のため、午後の水上練習はなく、選手は各自でコンディションを整えておりました。